

## 令和5年度 事業所における放課後等デイサービス自己評価結果

公表：令和6年3月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		限られたスペースを有効に活用するために事業所全体を使って活動動線、遊具配置等一人ひとりのスペースを確保しながら環境設定を行っています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		定められた基準に沿って人員を配置していますが、限られた人数の中での工夫は常に検討しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		玄関の段差以外建物自体がバリアフリー構造となっています。 机の高さなど一人ひとりに合わせた環境設定を行っています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		チーム全体で具体的な目標を設定し、定期的に振り返りながら積極的に取り入れています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		皆様のご意見を真摯に受け止め、業務改善につなげています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページで公開するとともに保護者交流会で配布し説明しました。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		相談支援専門員による外部評価、助言をいただきました。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		各関係機関による外部研修へ積極的に参加し、報告会を実施しています。ハラスメント、虐待防止に関する研修会や自然災害時の対応について内部研修を行いました。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		標準化されたアセスメントツールに当事業所独自の項目を加えたものを活用しています。

適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		各種活動におけるリーダーを中心にチーム全体で協議しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季節に応じた行事を毎月取り入れています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		事前に話し合うとともに児童の希望要望等も取り入れた活動や課題を設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		一人ひとりに合わせた計画の作成に努めています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼、昼礼にて前日の振り返りと当日の活動内容、流れ、職員配置、支援方法の統一を図っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の様子だけでなく、気付きや保護者、関係機関との連絡事項など細かく記し、支援につなげています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的なモニタリングの他、必要に応じて判断しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○		基本活動と児童発達支援5領域を組み合わせた支援を基本としています。定期的にチーム全体で読み合わせをしていく方向です。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		主に児童発達支援管理責任者が参加していますが、児童指導員も同行する機会を設けています。	

関係機関や保護者との連携

⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		基本的には保護者を經由しての情報共有ですが、必要に応じて直接学校と連絡を取り合ういケース会議の必要性を打診しています。今年度は一般校と面談を行い、教育と福祉の連携を図りました。送迎時の連絡調整に関しては職員間で連携できていますが、定期的に振り返る機会を設けていきます。
㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	現在受け入れを行っていません。
㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		当事業所では保育所訪問支援は行っておらず、保護者様や相談支援専門員を通じて情報共有と相互理解に努めています。今後更なる連携が必要になってきた場合は視野に入れていきます。
㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		移行前のケース会議には積極的に参加し、必要に応じて情報を提供しています。
㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		他事業所や専門機関との連携は積極的に行っています。研修にも参加し助言を受けています。
㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	○	今年度からの新たな試みとして子ども食堂へ参加しました。 土曜日を中心に児童館を利用しています。長期休暇中は公共の施設を利用していきます。 共生社会の実現を目指す中でとても重要ですが、まだまだ難しいのが現状です。地域とのつながりの強化、そして、放デイの横のつながりの幅を拡げていきたいと考えています。
㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	機会があれば参加したいと考えています。
㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時、連絡帳、面談時に過ごし様子や成長など細かく伝え、自宅や学校での様子を細かく確認させていただき、共通理解に努めています。

	⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	○	過ぎしの中での関わりのコツやヒント等その都度伝え共有しているが、ペアレント・トレーニングといった具体的な支援は行えていません。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約時に丁寧に説明をしており、変更があればその都度お知らせをさせていただいています。ご希望時には迅速かつ丁寧に対応させていただきます。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		その都度ご相談に応じています。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		令和6年2月26、27、28日に実施しました。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		責任者が毎年外部研修に参加し、その都度体制の見直しを行っています。細かな疑問や不安が不信感や不満、苦情にならないよう、何でも話していただける関係作りと迅速且つ適切な対応を心がけています。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		行事を中心にホームページ上で発信させていただいています。また、長期休み等は事前に予定表を配布しています。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○		利用契約時や必要に応じてその都度保護者同意をいただいています。個人情報への意識は定期的に振り返りを行っています。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		日々の過ぎしの中でのスケジュールを可視化し、見通しが持てるよう配慮しています。保護者の方々にも予定表を配布しています。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域に開かれた事業運営を目指し、今年度は子ども食堂への参加や地域ネットワーク会議への参加等から事業所の周知を図っています。
非常時等の	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各種マニュアルは適宜見直し、周知する体制を整えています。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回、非常災害週間とし訓練を行っています。今年度は地震からの火災発生に対する訓練を行いました。

対応	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	令和4年3月、虐待防止委員会を立ち上げ、今年度は虐待の項目を全員で確認しフローチャートを作成しました。権利擁護の視点から事例に基づいて考える機会としています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	現在身体拘束が必要な児童はいませんが、今後やむを得ず必要となった場合は、事前に十分説明した上で終了時を視野に入れた対応をしています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	アレルギーや好き嫌い、偏食の状況も含め利用契約時を中心に丁寧に聞き取りを行い、必要に応じて医師の指示書の提出をお願いしています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	大きな事故につながらないよう、また同じ場面とならないようヒヤリとした・ハッとした段階でその原因と背景を共有し対策を講じています。